

企業における研究開発・ものづくりに求められる条件

日時	案内メール、HP をご覧ください。	会場：WEB 配信方式
受講料	税抜き 49800 円（税込み 54780 円）テキスト付 & 主催講座特典	
講師	ジャパン・リサーチ・ラボ 代表 博士（工学） 奥村 治樹	
受講対象	得られる知識、スキル	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 経営者、トップマネジメント ・ 管理者、リーダー ・ 研究開発・ものづくりを行う担当者 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 企業における研究開発に求められること、条件 ・ 事業化できる研究開発の生み出し方、進め方 ・ 事業化の進め方 	
概要	<p>研究開発、ものづくりは企業活動そのものであり、必須のものであることは言うまでもありません。しかし、その実態を見ると決して効率的と言えないケースがあることはもちろん、そのため、無駄に予算や時間、人材と言ったリソースが浪費され、デスマーチが流れる中で苦勞して開発したものが事業化できないという事態を生んでいます。これらは、企業におけるものづくり、研究開発が満たすべき条件、求められることを満たしていないために起きています。</p> <p>本講座は、企業における研究開発・ものづくりに求められること、条件、そして、考え方、進め方を演習も交えながらより実践的視点に立って詳細に解説します。</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ● 【イントロダクション】 事業活動は何かということから、なぜ研究開発が必要かつ重要なのか、企業における研究開発とはどのようなものなのかについて整理解説します。 ● 【アカデミアとの対比】 研究と研究開発の違いという視点において、アカデミアとの違いを考えながら企業における研究開発で根本的に求められることについて解説します。 ● 【企業における研究開発・ものづくり】 企業における研究開発、ものづくりでは何が求められているのかということ考えながら、その進め方と要求にいかんして応えていくか、そのために考慮しなければならないことなども含めて解説します。 ● 【事業化・事業性】 研究開発とゴールである事業化との間にある深い深い谷をどのように超えるかについて、そのためにクリアしなければならないことはもちろん、実際にどのように進めていくかについて解説していきます。 ● 【出口とターゲット】 事業化を左右する出口戦略、ターゲットの捉え方について、マーケティング要素を踏まえながら解説します。 ● 【研究開発フェーズに求められること】 研究開発を遂行において存在する様々な壁をどのように超えていくかということを中心に、都度求められる決断の考え方なども含めながら解説します。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 【リソース（ヒトモノカネ）マネジメント】 研究開発に必要な不可欠な経営資源をどのように用意し、そして、どうすればそれらを最大限活用できるのかという点について解説します。 ● 【評価：人】 他部門とは全く異なる考え方を必要とする研究開発プロセスの評価について解説します。 ● 【評価：事業】 決断を誤ると研究開発の苦勞が水の泡になることはもちろん大きなダメージを受けることになる事業化判断について解説します。 ● 【リスクマネジメント】 研究開発につきものであり、切り離すことができないリスクをどう扱い、どう付き合っていくのかについて解説します。 ● 【ベンチャーとの関係性と活用】 イノベーションを起こす研究開発、そして、その事業化においてベンチャー企業との対比を例として変化とスピードの激しい現代にどう対応していくかについて解説します。 ● 【まとめ】と質疑 <p style="text-align: center;">詳細は、HP をご覧ください</p>	
お申し込み	https://analysis.ikaduchi.com/tsushin-form.html または HP お問い合わせより	